

ふりがな 氏 名	ささきもとひろ 佐々木 基裕	職 名	講師
取 得 学 位	修士(教育学)	学会での受賞歴	第65回関西社会学会大会奨励賞受賞
主な担当科目	教育原理Ⅰ、道徳教育の理論と方法、教育課程論、教育社会学、教育の原理と制度、保育・教職実践演習(幼稚園)、実践課題研究Ⅰ、卒業論文演習、卒業論文、海外スクールインターンシップ		
所 属 学 会	日本教育社会学会、日本社会学会、関西社会学会、日本高等教育学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
作成した教科書及び教材	平成29年7月	教材『教育免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド No.2』(三恵社)
	平成29年9月	教材『教員としての資質能力向上に向けた実践ポイント集』(教職課程教育実践研究会)
	平成30年3月	教材『教育・保育職シリーズ5 教育・保育の新視点』(三恵社)
	平成30年3月	教科書『保育原理』(七猫社)
	令和元年7月	教材『シリーズ教育・保育の論点 教授法と子ども理解』(三恵社)
	令和3年7月	教材『シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び』(三恵社)
その他	平成29年6月28日	名古屋女子大学高等学校・系統別説明会で、大学講義体験授業(教育)の講師を務めた。
	平成30年8月23日	名古屋女子大学教員免許状更新講習で、選択領域講習の講師を務めた。
	令和元年8月28日	名古屋女子大学教員免許状更新講習で、選択領域講習の講師を務めた。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発 行・ 発 表 年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備 考
著 書	1. 『教育免許状更新講習の理解を深めるための教育・保育の論点ガイド』	共	2017年7月	三恵社 (164頁)	編者:名古屋女子大学文学部児童教育学科 著者:佐々木基裕、他27名

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	No.2』 2. 『教員としての資質能力向上に向けた実践ポイント集』	共	2017年9月	教職課程教育実践研究会 (295頁)	<p>分担:第1章「教育の基礎的理解」第5節「一貫教育にみる教育課程・教育方法の課題—義務教育学校は中1ギャップを解消するか?—」(pp. 25-30)</p> <p>編者:歌川光一・水引貴子・井陽介 執筆:井陽介、歌川光一、東風安生、<u>佐々木基裕</u>、鈴木翔、堤ひろゆき、水引貴子、宮本桃英、山口香苗</p> <p>分担:第3章「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」第1節「教育の基本的概念」第1項「教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。(小～高)」(pp. 18-21)、第2節「教育に関する歴史」第3項-2「現代社会における教育課題を歴史的な視点から理科している。(幼)」(pp. 38-40)、第3節「教育に関する思想」第2項「学校や学習に関わる教育の思想を理解している。」(pp. 44-46)、第5章「教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)」第1-1節「教育に関する社会的事項」第1項「学校を巡る近年の様々な状況の変化を理解している。」(pp. 59-61)、第2節「学校と地域との連携」第2項「地域との連携を基とする開かれた学校づくりが進められてきた経緯を理解している。」(pp. 74-76)、第3節「学校安全への対応」第2項「生活安全、交通安全、災害安全の各領域や我が国の学校をとりまく新たな安全上の課題について、安全管理および安全教育の両面から具体的な取組を理解している。(小～高)」(pp. 80-82)、第8章「教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)」第1節「教育課程の意義」第1-2項</p>

区 分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備 考
著 書					<p>「幼稚園教育要領の性格及び位置付け並びに教育課程編成の目的を理解している。」(pp. 101-103)、第 2-2 項「幼稚園教育要領の改訂の変遷及び主な改訂内容並びにその社会的背景を理解している。」(pp. 107-109)、第 2 節「教育課程の編成の方法」第 1 項「教育課程編成の基本原則を理解している。」(pp. 113-115)、第 3 節「カリキュラム・マネジメント」第 2 項「カリキュラム評価の基礎的な考え方を理解している。」(pp. 125-127)、第 9 章「道徳の理論及び指導法」第 1 節「道徳の理論」第 2 項「道徳教育の歴史や現代社会における道徳教育の課題(いじめ、情報モラル等)を理解している。」(pp. 131-133)、第 2 節「道徳の指導法」第 1 項「学校における道徳教育の指導計画及び教育活動全体を通じた指導の必要性を理解している。」(pp. 140-142)、第 6 項「模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。」(pp. 155-157)、第 17 章「教育実習(学校インターンシップ(学校体験活動)を含む。)」第 1 節「事前指導・事後指導に関する事項」第 1 項「教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。(小～高)」(pp. 278-279)、第 2 項「教育実習を通して得られた知識と経験をふりかえり、教員免許取得までにさらに習得することが必要な知識や技能等を理解している。(小～高)」(pp. 281-282)、第 2 節「観察及び参加並びに教育実習校の理解に関する事項」第 1 項「幼児、児童又は生徒との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。」(p. 284)、第</p>

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
著 書					<p>2 項「指導教員等の実施する授業を視点を持って観察し、事実 に即して記録することができる。 (小～高)」(pp. 284-285)、第 3 項「教育実習校の学校経営方針 及び特色ある教育活動並びにそ れらを実施するための組織体制 について理解している。(小～ 高)」(p. 287)、第 4 項「学級担任 や教科担任等の補助的な役割 を担うことができる。」(p. 289)、 第 3-1 節「学習指導及び学級経 営に関する事項 ※小学校教諭・ 中学校教諭・高等学校教諭」 第 1 項「学習指導要領及び児童 又は生徒の実態等を踏まえた適 切な学習指導案を作成し、授業 を実践することができる。」(pp. 291-292)、「学習指導に必要な 基礎的技術(話法・板書・学習形 態・授業展開・環境構成など)を 実地に即して身につけるととも に、適切な場面で情報機器を活 用することができる。」(p. 292)、 第 3 項「学級担任の役割と職務 内容を実地に即して理解してい る。」(p. 292-293)、第 4 項「教科 指導以外の様々な活動の場 面で適切に児童又は生徒と関 わることができる。」(p. 293-294)</p> <p>3. 『教育・保育職シリーズ 5 教育・保育の新視点』 共 2018 年 3 月 三恵社 (313 頁) 編者:名古屋女子大学文学部児 童教育学科 著者:佐々木基裕、他 30 名 分担:第 1 部「教育・保育の基礎 的理解」第 3 章「学校教育におけ る教育目標—教育政策としての PDCA サイクルの検討—」(pp. 21-30)</p> <p>4. 『保育原理』 共 2018 年 3 月 七猫社 (160 頁) 編者:山本一成 著者:佐々木基裕、他 7 名 分担:第 2 章「保育の制度」(pp. 24-39)</p> <p>5. 『教育免許状更新講習の 理解を深めるための教 共 2018 年 7 月 三恵社 編者:名古屋女子大学文学部児 童教育学科</p>

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
著書	育・保育の論点ガイド No.3』				著者:佐々木基裕、他 23 名 分担:第 2 章「小学校・中学校における教科の指導法」第 7 節「道徳科におけるモラル・ジレンマ教材活用にあたっての留意点—教師は答えを提示すべきか—」(pp. 136-144)
	6. 『シリーズ教育・保育の論点 教授法と子ども理解』	共	2019 年 7 月	三恵社	編者:名古屋女子大学文学部 著者:佐々木基裕、他 18 名 分担:第 1 部「教育・保育の基礎理解」第 4 章「授業ばかりしているとバカになる—近年の教員調査における読書時間から—」(pp. 25-32)
	7. 『シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び』	共	2021 年 7 月	三恵社	編者:名古屋女子大学文学部 著者:佐々木基裕、他 17 名 分担:第 1 部「教育・保育の基礎理解」第 4 章「論壇雑誌にみる教育問題のトレンド:『現代思想』教育特集の分析」(pp. 25-32)
論文	1. 学校知識の教育社会学—教育課程編成理論の変遷から—	単	2017 年 10 月	名古屋女子大学文学部 児童教育学科編『児童教育論集』第 1 号 (9 頁)	pp. 19-27
	2. 「逆向き設計」の視点から考える年間指導計画の編成	単	2018 年 2 月	名古屋女子大学児童教育学科編『教育・保育モノグラフ』No.2 (10 頁)	pp. 1-10
	3. 生徒指導上の問題としての援助交際再考	共	2018 年 10 月	昭和女子大学近代文化研究所『学苑』	pp. 53-63、歌川光一・鈴木翔・岡邑衛と共著
	4. 教職課程担当教員の専門性に関する研究動向—「教師教育者」および高等教育研究を中心に—	共	2019 年 3 月	『名古屋女子大学紀要』第 65 号	pp. 243-255、杉原央樹と共著
	5. 大学における効果的な授業法の研究 7(平成 27~29 年度)—学生が主体的に学修する力を身につけるための教育方法	共	2019 年 5 月	『総合科学研究』第 13 号	pp. 1-47、遠山佳治・市村由貴・渋谷寿・白井靖敏・杉原央樹・竹内正裕・豊永洵子・羽澄直子・服部幹雄・原田妙子・野内友規・山田勝洋・三宅元子・吉川直志と共

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	の開発一」				著
	6. 新教育課程に向けた音楽カリキュラム構築と教育法の確立	共	2019年5月	『総合科学研究』第13号	pp. 49-57、稲木真司と共著
	7. 創立者越原春子および女子教育に関する研究(平成28年度～30年度)	共	2020年5月	『総合科学研究』第14号	pp. 1-86、河合玲子・遠山佳治・豊永洵子・藤巻裕昌・三宅元子・吉川直志・吉田文と共著
	8. 近代日本における音楽教育の変遷をふまえた今の日本に必要な音楽・音感教育のあり方	共	2020年5月	『総合科学研究』第14号	pp. 87-96、稲木真司と共著
	9. なぜピル(経口避妊薬)について教えられないのか?—性教育・学習指導要領・隠れたカリキュラム—	単	2021年1月	名古屋女子大学文学部児童教育学科編『児童教育論集』第4号	pp. 30-39
	10. 近代日本における音楽教育の変遷をふまえた今の日本に必要な音楽・音感教育のあり方Ⅱ	共	2021年5月	『総合科学研究』第15号	pp. 27-36、稲木真司と共著
11. 論壇雑誌にみる教育問題のトレンド(2):『現代思想』大学特集の分析	共	2021年12月	名古屋女子大学文学部児童教育学科編『児童教育論集』第5号	pp. 19-25	
学会発表	1. 現代若者におけるNHK「連続テレビ小説」の受容—視聴者アンケート調査の分析を中心に—	共	2017年10月21日	第69回日本教育社会学会大会(於:一橋大学)	稲垣恭子・○佐々木基裕・○伊藤すみれ・椎名健人・花田史彦・服部弘 発表要旨集録 p. 234-237 口頭発表
	2. 現代日本の若者にとって「朝ドラ」とは何か?—質問紙調査及びインタビュー調査から	共	2019年3月23日	中国文化大学日本語学科・京都大学教育学研究科共催シンポジウム「越境する「朝ドラ」——その過去・現在・未来(「越境的「晨間劇」:晨間劇的過去, 現在與未來)」(中国文化大学)	稲垣 恭子・竹内 里欧・濱 貴子・佐々木 基裕・花田 史彦・椎名 健人 口頭発表
	3. ポスト近代社会における		2019年	第71回日本教育社会学	稲垣 恭子, 竹内 里欧, 濱 貴

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
	「成長物語」―「連続テレビ小説」を手掛かりに		9月12日	会(大正大学)	子, 井上 慧真, 佐々木 基裕, 花田 史彦, 椎名 健人 口頭発表
そ の 他	1. 学生の主体的な学びに関する調査結果	共	2017年5月	名古屋女子大学総合科学研究所『総合科学研究』第11号	pp. 121-129、白井 靖敏・遠山佳治・渋谷 寿・原田 妙子・羽澄直子・服部 幹雄・歌川 光一・辻和良・野内 友規・杉原 央樹・吉川 直志・三宅 元子と共著
	2. 〈教師教育実践〉保育者および教員養成課程の学生による子ども向けテレビアニメーションのキャラクターを知るための情報物としての画像とフィギュアの比較実践	共	2021年10月	『東海北陸教師教育研究』34号	pp. 3-10、高橋哲也と共著
	3. 〈資料〉子ども向けテレビアニメーション「プリキュア」で扱われている行事について	共	2022年3月	『名古屋女子大学紀要』第68号	pp. 221-229、高橋哲也・小瀬木奏絵と共著